

タスクシフトにどれだけ貢献できるか！

Ce

ここ10年を左右する活動となる

2019年 (令和元年) 夏季号

臨工連盟新聞

議 勵き方改革関連法」が成立し、大企業では本年4月より施行されています。本法律制定の背景には高齢化社会への対応、外国人労働者の受け入れなどありますが、最も注視すべきは長時間労働の是正です。極めて大雑把に言うと時間外をし過ぎると、6か月以下の懲役または30万円以下の罰金が課せられます。医師には「高度プロフェッショナル制度」が適応され、5年間の猶予が与えられております。

昨年から厚労省で議論されている医師の働き方改革に関する検討会では、時間外の上限が1860時間と具体的な数値目標が掲げられ、期日までに達成しなければなりません。医師の約1割にあたる2万人程度が規制適応にあたると試算され、本格的に具体的な対策の検討がなされていました。そこで医療技術職に、医師の業務の一部

公表できる時期になれば提示いたしますが、我々にとつて歴史的転換期を迎えていることは間違ひありません。もちろん他団体も同様に高く注目しております。約30団体に案内され、数日間にわたって残りの職能団体ともヒアリングが行われる予定です。今後、8月までに提案がまとめられ年末までに方針が固まる予定となつております。

まさに職能団体として本丸の活動となりますが、連盟もまた間接的にアプローチを継続

議 勵き方改革関連法」昨年6月に参院本会
議が成立し、大企業では
本年4月より施行され
ています。本法律制定
の背景には高齢化社会
への対応、外国人労働
者の受け入れなどあり
ますが、最も注視すべ
きは長時間労働のは是正
です。極めて大難把に
言うと時間外をし過ぎ
ると、6ヶ月以下の懲
役または30万円以下の
罰金が課せられます。

を移管 タスクシフト)
することが検討されて
います。

会の活動に合わせて個人レベルでの連携をはじめよろしくお願ひします。そして、その気があるのか?」よりも多くの臨床工学技士が、医師のタスクシフトに関わりたいという強い意思を示すために連盟活動への引き続きご支援をよろしくお願ひいたします。

「口一丸には拘りません。
たやれるのか。できる
のか。」いざ、認めて
貰った時にその実力が
なければ身も蓋もあり
ません。

頂いている会員の皆様に心より感謝申し上げます。団体としては技士会と共に手を取り合って進めてまいりますが会員の皆様におかれましては実現した時に備えて、技術と知識の集積に務めていただきたくお願い申し上げます

していることが、タスクシフト実現に向けた力になつていると確信

まず、大阪大学医学部付属病院では補助人工心臓を中心とした手術手技や外来診療の補助、埋め込み後の患者に対する機器の取り扱い教育の実際など、生命維持管理装置を中心とする臨床工学技士の高度複雑な医療現場を実際の目で見学して頂きました。

医師の業務負担軽減の
どの分野において臨床
工学技士を活用するこ
とができるかが焦点と
なります。これまでの
連盟の活動が厚生労働
省にまで届いたことが
実感できる今後に繋が
る出来事となりました
長年の要望が実り、こ
れを契機に議論の土台
に上がれた事、これか
らが勝負である事を痛
感いたしました。

4月25日 臨床工学
技士が誕生して以来歴史上初めての、厚生労働省医政局医事課による臨床工学技士の実際の業務内容把握為の施設見学が実施されました。**目的**の背景には、**医師の働き方改革に伴うマスク不足への対応**があります。

へと移動され、全国に先駆けて行われていろいろ醉アシスタンントの業務内容について引き続き見学を行われました

ングでは教育など養成課程についても話題となり、2021年に予定されているコアカリキュラムの見直しにのいても、見学の内容が検討材料になることをお話しされました。たった一日のタイト

賛するお言葉を頂きました。厚生労働省の3名の方々も実際の現場で活躍する臨床工学技士の姿に感心されて、いる様子が伺えました。

大阪大学では先進臨床工学共同研究講座がすでに開設されている

省による業務 澤教授を始め、直接理 湯こ居られき（ICU）の



可能であるという数値的な根拠の集積をとどめ助言頂きました。要望の前進に EBM が欠かせないことを改めて思いました。会員一人一人の意識改革が必要であることは間違ひありません。

院長の古家先生が述べられました。後のディスカッションでは、法整備や通知など臨床工学技士の業務拡大について具体的に前進させる手法について討論させていただきました。

臨床工学技士があらゆる場面で有効に働くべ

議連設立報告会が、3月2日野田毅先生のお膝元である熊本県医師会館で行われました。結果的には150名を超える盛大な会合となり、主催者側としてはホッと胸を撫で下ろしたところです。講演に先立ち、私の方からここに至るまでの概要をご説明させていただきまし。改めて振り返りますと、自前の国會議員も存在せず国家資格取得者数も4万人そこそこ、就業者数は約その半分、連盟会員に至ってはさらにその7%台と、こんな状況でよく議員連盟が設立されたものだと我が事ながら感心してしまいます。合わせて私をはじめ熊本県の技士会員の皆様による、影ながらの努力が実を結んだものと心から感謝申し上げます。

臨床工学技士への期待、さらには昨今話題となつてゐる韓国との諸問題と歴史的背景などを幅広く解説され、若い人も多数参加されていましたが居眠りをする人は殆んど見受けられませんでした。

年頭所感でもありましたように、31年目を迎えた臨床工学技士は間違いなく曲がり角に差し掛かっており、リニューアルを模索する時期に来ていると感じます。そこへ降つて涌いたように出現した話題が働き方改革で、その最も大きな目玉は時間外労働の上限設定です。年間2000時間を超える時間外労働を行っている医師が、全体の1割を超える2万人以上居るとされ、上限を超える時間外労働を行った場合には罰則規定まで設けられたことから、待ったなしの対策が求められているのです。

臨床工学技士の資質向上を求める議連設立報告会

高度専門的な技術や知識についても、医師の

元祖ゆるきやらの
“くまもん”には敵い
ませんが、それに匹敵
する私、山田の背後靈
で許してください。



野田先生には懇親会にもご参加頂きました。マスクコットキャラクターのシープリンを手にされ、につこりと笑顔で写真撮影に応じて下さいました。

再来年は熊本県で日本臨床工学会が開催される予定となっておりますので、その時には良い成果物を引っ提げてこのようなイベントを再現したいと妄想しています。今日この頃です。

名簿の作成について

連盟ではこの度、創設後初めて本格的な名簿の作成に着手致しました。政治活動への懐疑的な風潮や個人情報の保護、公職選挙法の遵守、公務員など公な立場で勤務する方の立場など、安易な収集が困難な世相となっています。過去起きた様々な事例から規制が厳しくなり、このような風潮となっていると思われますが、そのことにより面倒くさい事には関わりたくないという理由で、自分の意思を示す一票を無駄にするのはもったいないと思います。

先日行われた第27回東京都臨床工学技士会では、武見敬三参議院議員（臨床工学技士の資質向上を求める議員連盟顧問）がご挨拶に来られました。武見敬三先生と言えば元医師会長で医療政策に強い影響を与えたご尊父の武見太郎先生が著名です。ご挨拶の中で、人口減少が進行する我が国では、今後A Iなどの人工知能は間違いなく生活に深く浸透する。医療も例外ではなく臨床工学技士には強い期待を持っていると述べられました。

個人的には足掛け6年のロビー活動がようやく実を結び始め、武見先生のご来訪や東京都臨床工学技士会の会員様の意識の変化を実感することができ、ありがたい感謝の気持ちでいっぱいです。秘書の方が、皆で「ガンバローコールお願ひできますか?」と打診されましたが、最後にドン引きしてお互いの空気が気まずくなつては…と懸念し、控えて頂くことを選択しました。聞けば他の会合でも控えることをお願いされることも増えているそうで、時代なのでしょうか?一致団結して組織活動を強化するのは、なかなか難しい時代になっているような気がします。

掲題の話題に戻しますが、政治活動と選挙運動は異なります。選挙運動は、公示日から投票日の前日までの期間中に、特定の候補者または特定の立候補者予定者の当選を目的として直接または間接的に投票を促す行為とあります。具体的には選挙ポスターが貼り出されている期間がこれにあたります

みんなでやればきっと変わる！
会員数6月末現在
1549名

5月14日に、ホテルニューオータニ鶴の間で「威風堂々」と開催されました。参加人数も平成29年3千人、昨年は3千6百人、ついに今年は4千5百人参加となり、芸能人の結婚披露宴もされる巨大会場が「朝の満員電車」状況です。東京都済生会向島病院の松田様と私、小林は人の波に流れつつ、ステージ上手に向かいます。

志公会は清和政策研究会に続く自民党内第2派閥で会員は57名です。各議員や第25回参議院選挙候補者の名前が書かれた幟が関ヶ原の合戦のごとくはためき、選挙戦を挑む呈を成しています。

今回の司会はスピーチの参議院議員今井絵理子。会のスターは安倍総理から挨拶が始まり、会メンバー57名が一人ずつ名前を呼ばれ壇上に上がります。そして、最後に呼ばれたのは志公会生太郎会長です。当然、会長の挨拶があり

ます。ですが、ここでは割愛。問題は、我々はこの志公会に何をしに来たのか? 思い出作りでは皆の志を無駄にしかねません。そう臨床工学技士として爪痕を残す必要があるのです。もちろん参加費を支払い、参加時に名刺を残すことは最低条件です。ここはやはり、麻生会長と写真を撮らなければ参加した意味はない。志を高くもち、公を腹に収める」ごとく周りに準備されていく宴席には目もくれず行動を起こします。



厚労関係職種のメンツを懸けた戦いに

参院選・自民比例 (MEDIFAX webより)

間近に迫った参院選では、自民党の比例代表に厚生労働、特に医療、医薬品、介護に縁の深い関係者が多数、立候補を予定している。他の業界と比べても厚労関係者の数の多さは際立つ。「厚労関係の議員が増えて、発言力が高まるのは良いこと」(自民党厚労族議員)と肯定的な声もある一方、厚労関係の職種間のメンツを懸けた戦いになりつつあるとの見方も少なくない。

本紙の集計では、自民の比例代表で立候補が見込まれる厚労関係者は、△衛藤晟一・元厚労副大臣△石田昌宏・参院厚労委員長△木村義雄・元厚労副大臣△羽生田俊・党厚労部会長代理△糸川正晃・元厚労政務官△小川眞史・日本衛生検査所協会理事△角田充由・全国老人福祉施設協議会理事△田中昌史・日本理学療法士協会理事△比嘉奈津美・日本歯科医師連盟顧問△本田顕子・日本薬剤師連盟副会長△山本左近・全国老人保健施設連盟政策委員長の11人。

今回の参院選は、自民が大勝した2013年参院選の「反動」が予想されるほか、自民比例の2人は「特定枠」になるとみられ、当選を懸けた争いは激しくなりそうだ。

さらに野党から、いずれも医師の中で一定の知名度を持つ塩見俊次・元奈良県医師会会長(立憲民主党)、梅村聰・元厚労政務官(日本維新の会)らが立候補を予定している。

選挙結果は「20年度改定」にも影響?

こうした状況を受け、元日本医師会副会長でもある羽生田氏を擁立する日本医師連盟は、特に危機感が強い。調剤報酬・薬価への圧力を懸念する薬剤師・医薬品業界や、近年、数が急増し、「リハビリ専門職による開業を認めてほしい」との声も出ている理学療法士業界などと比べ、医師は「政治に声を届けたいという切迫感が少ない」(医師会関係者)と見られているからだ。「立場に一定の安定感がある医師と違い、地位の確立に向け、さまざまな要望を持つ他職種はいわば『追う立場』。一般には、追われる側よりも追う側のほうが迫力がある」(自民関係者)との声も漏れる。

日医連の擁立候補では、13年に羽生田氏が24万9818票、16年に自見英子氏が21万562票を獲得している。今回の選挙でこの票数がどう変わるか、そして他職種と比べて票数が多いか少ないかが、医師会の今後の発言力に影響を及ぼす、との見方が関係者の間では強い。「参院選が終われば、秋から20年度診療報酬改定に向けた議論が本格化する。どの職種が推した候補が、どの程度の票数を獲得できたのか、改定にも微妙に影を落とすのではないか」(自民関係者)との声も出ている。

志公会と語る夕べ

様状態など、ほぼパニック状態を絶え、ドミニク倒しになる寸前)、議員秘書やホテルマンのデイフェンダーをかいぐる攻めが必要です。躊躇は負けを意味します。最後の壁は、女性団体が要注意二人で麻生さんと撮りたい・わたしまも」と1枚のはずが、複数枚撮影になります。時間を使います。アディショナルタイムはありません。そして何よりも重要なのは、撮影をしてくれる志公会議員の秘書。私に抜け目はありません。中西けんじ議員秘書をみつけ、挨拶後スマホを渡

しひたすら連写一枚)。その至高の一枚がこの写真。

その後は議員名が書かれた幟をたよりに志鎮議員もこのときばかりはみな最後まで会場に滞在し時間を共有できます。まさに参議院選挙の前に我々も熾烈な戦いは始まっています。そんな会であつた事を報告させていただきます。我こそは次回参戦希望の方をお待ちしております。

公会議員とひたすら挨拶、名刺交換、写真を撮ります。大臣級や重鎮議員もこのときばかりはみな最後まで会場に滞在し時間を共有できます。まさに参議院選挙の前に我々も熾烈な戦いは始まっています。そんな会であつた事を報告させていただきます。我こそは次回参戦希望の方をお待ちしております。

副理事長小林剛志

6月12日憲政記念館で開催された鬼木誠衆議院議員の政治フォーラムに東京都の松田信也さんと2名で参加して参りました。

鬼木議員は福岡2区からの3期目の衆議院議員で臨床工学技士の在りかたを考える議員連盟の事務局次長に就任して頂いている自民党若手の将来有望とされる議員です。

会場には野田毅先生、自見はな子先生も発起人として参列していました。来賓の挨拶では、石原伸晃、山崎拓、野田毅先生、石田総務大臣、岩屋防衛大臣、山下法務大臣、その他とそうそうたる面々の挨拶が続きましたが、人脈としては山下拓の地盤を継ぐ関係で、近未来政治研究所（石原派）を中心に行き、福岡関連、同期の山下法務大臣といった所でしょう。

動物看護師の国家資格化にも中心的に尽力したとの事。学生時代から西日本銀行時代、現在もラグビーを続けているらしく、実直で、実行力のありそうなイ



ジネスト氏はユマニチユード技術の創始者で、個人的にはとても勉強になる興味深い講演でした。

九州理事小嶋博揮

翌日13日は参議院会館の講堂で開催された、小川かつみ議員企画のイヴ・ジネスト氏によるユマニチユード技術を使った認知症ケアについての講演を拝聴してまいりました。

おにき誠 政経フォーラム 2019

メージは個人的にはとても期待できると感じました。少しの時間ですが、直接お話をさせて頂き、臨床工学技士の事もしっかりと認識しております。安心致しました。

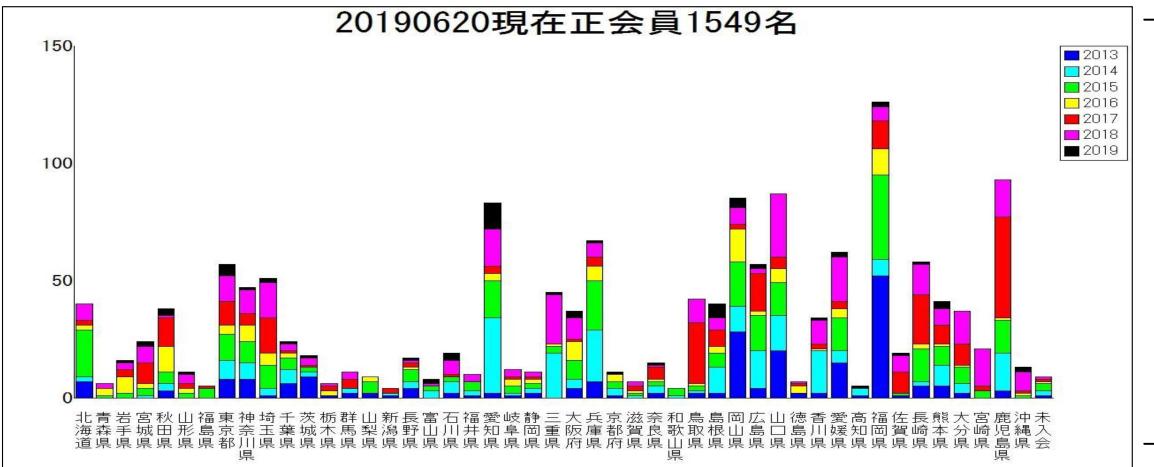
手県盛岡市を会場に第29回日本臨床工学会」および「公益社団法人日本臨床工学技士会総会」が開催され、第1日目の19時からは大会意見交換会として、ホテルメトロポリタン盛岡で臨床工学技士の資質向上を求める議員連盟（会長代行をお勤め頂いている元厚生労働副大臣参議院議員木村義雄先生）をお招きしてご挨拶を頂きました。

意見交換会では59名の会員が参加される中、木村先生からは今大会の盛会へご祝辞を頂いた後、社会保障に関する諸問題への取り組みや、臨床工学技士への期待と展望について御話を頂戴いたしました。また、今夏に予定されている参議院選挙に向け全国比例区の投票の書き方もご説明頂き、今後の臨床工学技士の発展を望むため、議連の先生方を我々臨床工学技士が一致団結して応援していくこうと会場からたくさんの方々が拍手が送られました。

会や意見交換会に可能な限り国会議員や県知事、行政関係の方々をお招きし、臨床工学技士という職種を知つていただくと共に、印象に残る出会いの場を増やしていきたいと考えております。色々なお願いをする場合には、印象最終的には、顔の見えある関係が役立ちます。

北海道東北ブロック理事 浦波智（浦波智）

意見交換会では59名の会員が参加される中、木村先生からは今大会の盛会へご祝辞を頂いた後、社会保障に関する諸問題への取り組みや、臨床工学技士への期待と展望について御話を頂戴いたしました。また、今夏に予定されている参議院選挙に向け全国比例区の投票の書き方もご説明頂き、今後の臨床工学技士の発展を望むため、議連の先生方を我々臨床工学技士が一致団結して応援をしているこうと会場からたくさんの方々が拍手が送られました。



「福岡県臨床工学技士連盟が設立されました」

福岡県臨床工学技士連盟理事長 有田誠一郎

我々、臨床工学技士の未来を切り開き発展させていくためには、自ら積極的に行動していかなければいけません。そこで、福岡県では、2018年1月1日福岡県臨床工学技士連盟を設立しました。

福岡県臨床工学技士連盟は、資金管理団体や国会議員関係政治団体ではなく、「その他の政治団体として、設立届けと規約を福岡県選舉管理委員会に提出し、正式に政治団体となり、日本臨床工学技士連盟と協力共同し活動を行っていく事になりました。（福岡県の活動は全て日本臨床工学技士連盟と共有しています）

目的を達成するために、次の項目を福岡県臨床工学技士連盟の活動としました。

- ① 福岡県臨床工学技士連盟および日本臨床工学技士連盟会員入会促進
- ② 福岡県内で開催される政治会合への参加
- ③ 福岡県内で我々の要望に賛同する議員に対して選挙活動
- ④ 福岡県内の医療系連盟との関係構築
- ⑤ 福岡県臨床工学会や賀詞交換会への議員招聘および勉強会の開催

福岡県臨床工学技士連盟は、「数は力なり」と組織力を高めるために、入会金および年会費を0円とし、活動に賛同して頂ける方々を広く募っています。

現在の会員数は約250名です。入会方法は、「福岡県臨床工学技士連盟会員入会届」に必要事項を記入して頂き、福岡県臨床工学技士連盟事務局へ、メールもしくはFAXにて送付いただく事にしています。また、福岡県臨床工学会や各種セミナー開催時に、連盟ブースを配置して、技士会会員に直接口頭で連盟説明を行い入会促進しています。現在は、福岡県臨床工学技士連盟ホームページ（福臨工HPバナー内）から入会手続きが直接入力できるよう準備しています。

連盟に入会して頂く際に、入会届けや口頭で、選挙時に連絡等が行くことに了承して頂いていますので、選挙時の名簿作成や連絡に大変役に立っています。

鬼木誠 政治フォーラム

日臨工学会 意見交換会にて